

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 2019年11月14日

【四半期会計期間】 第100期第2四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

【会社名】 株式会社大運

【英訳名】 DAIUN CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 岩崎雅信

【本店の所在の場所】 大阪市中央区久太郎町四丁目1番3号

【電話番号】 (06)6120局2001番

【事務連絡者氏名】 管理部課長 蜂須賀伸子

【最寄りの連絡場所】 大阪市中央区久太郎町四丁目1番3号

【電話番号】 (06)6120局2001番

【事務連絡者氏名】 管理部課長 蜂須賀伸子

【縦覧に供する場所】 株式会社大運 神戸支店  
(神戸市東灘区向洋町東三丁目)  
株式会社大運 名古屋支店  
(名古屋市中区丸の内一丁目4番12号)  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

## 第1 【企業の概況】

## 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第99期 第2四半期 累計期間	第100期 第2四半期 累計期間	第99期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	3,622,065	3,774,737	7,365,469
経常利益 (千円)	95,137	89,790	119,763
四半期純利益又は当期純損失 (千円)	55,149	45,145	20,516
持分法を適用した場合の 投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	2,394,398	2,394,398	2,394,398
発行済株式総数 (千株)	6,228	6,228	6,228
純資産額 (千円)	2,591,850	2,577,208	2,483,427
総資産額 (千円)	5,149,101	4,931,553	4,624,482
1株当たり四半期純利益金額又 は当期純損失金額 (円)	8.87	7.26	3.30
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	-	-	3.00
自己資本比率 (%)	50.3	52.3	53.7
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	110,603	124,035	119,553
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	20,517	4,840	13,972
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	486,987	115,761	859,911
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	1,198,636	1,297,371	1,062,415

回次	第99期 第2四半期 会計期間	第100期 第2四半期 会計期間
会計期間	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	2.49	2.39

- (注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 当社は子会社株式及び関連会社株式を有していないので、持分法を適用した場合の投資利益については、記載しておりません。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。  
また、当社は関係会社を有しておらず、その異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の概要

第2四半期累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢の改善等により緩やかな回復基調が続いております。世界経済につきましては、韓国や欧米の一部においては景気は弱い動きが見られ、国内については相次いで発生した自然災害の影響、消費税引き上げ後の消費者マインドの動向リスク等不透明感も払拭できない状況にあります。

このような状況の中、当社におきましては、営業収入は堅調に推移しております。当第2四半期累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)における当社の業績につきましては、営業収入の堅調な推移にも拘わらず、営業利益は前年同四半期比で減少しております。これは諸コストを含めた原価率の上昇等によるものです。

この結果、当第2四半期累計期間における営業収入は3,774,737千円で、前年同四半期累計期間と比べ152,671千円(4.2%)の増収となりました。営業利益は6,600千円で、前年同四半期累計期間と比べ32,840千円(83.3%)の大幅な減益、経常利益は89,790千円で、前年同四半期累計期間と比べ5,346千円(5.6%)の減益となりました。また、四半期純利益は45,145千円となり、前年同四半期累計期間と比べ10,004千円(18.1%)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### 港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、営業収入は受注案件が堅調に推移したことにより前年同四半期比増収となりました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は3,647,703千円で、前年同四半期累計期間と比べ149,514千円(4.3%)の増収となり、全セグメントの96.6%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は195,872千円で、前年同四半期累計期間と比べ29,403千円(13.1%)の減益となりました。

#### 自動車運送事業

当セグメントにおきましては、回復傾向にあります。

営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は125,838千円で、前年同四半期累計期間と比べ4,715千円(3.9%)の増収となり、全セグメントの3.3%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は4,769千円で、前年同四半期累計期間と比べ22,940千円(前年同四半期累計期間は18,171千円の損失)の増益となりました。

#### その他

当セグメントにおきましては、海上保険収入が伸び悩みました。この結果、営業収入は1,195千円で、前年同四半期累計期間と比べ1,558千円(56.6%)の減収となり、全セグメントの0.0%を占めております。セグメント利益(営業利益)は1,153千円で、前年同四半期累計期間と比べ1,567千円(57.6%)の減益となりました。

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末より334,204千円増加して2,768,609千円となりました。これは現金及び預金の増加234,956千円、営業未収入金の増加49,481千円等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末より26,576千円減少して2,162,272千円となりました。これはのれんの減少13,965千円、繰延税金資産の減少10,788千円等によるものであります。

繰延資産は、前事業年度末より557千円減少して671千円となりました。これは社債発行費の減少によるものであります。

流動負債は、前事業年度末より95,053千円増加して1,506,172千円となりました。これは営業未払金の増加51,147千円、1年内返済予定の長期借入金の増加51,096千円等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末より118,236千円増加して848,172千円となりました。これは長期借入金の増加118,033千円等によるものであります。

純資産は、前事業年度末より93,780千円増加して2,577,208千円となりました。これはその他有価証券評価差額金の増加67,335千円、四半期純利益による利益剰余金の増加45,145千円等によるものであります。

## (2) キャッシュ・フロー - の状況

当第2四半期累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末比+234,956千円であり、1,297,371千円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、124,035千円(前年同四半期は110,603千円)でありました。これは、税引前四半期純利益計上67,477千円、仕入債務の増加50,688千円等が主な要因となっております。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、4,840千円(前年同四半期は20,517千円)でありました。これは、投資有価証券の取得による支出164,649千円、有形固定資産の取得による支出29,327千円、投資有価証券の売却による収入184,866千円等によるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、115,761千円(前年同四半期は486,987千円)でありました。これは、長期借入の返済による支出330,871千円、社債の償還による支出29,300千円、配当金による支出18,244千円、長期借入金による収入500,000千円等によるものです。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等は行なわれておりません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	15,000,000
計	15,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,228,039	6,228,039	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数は100株で あります。
計	6,228,039	6,228,039	-	-

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年9月30日		6,228,039		2,394,398		52,473

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を除く。)の総数に 対する所有株式数 の割合(%)
大運協力会社持株会	大阪市中央区久太郎町4丁目1-3	849	13.66
大運従業員持株会	大阪市中央区久太郎町4丁目1-3	307	4.95
藤本弘和	大阪府吹田市	220	3.55
前田慶和	大阪府貝塚市	175	2.82
吉澤英雄	茨城県水戸市	151	2.44
加藤清行	愛媛県新居浜市	90	1.46
加藤寛一	徳島県吉野川市	74	1.20
宝天大同	兵庫県神戸市北区山田町下谷上箕の谷3-1	64	1.03
赤瀬弘	香川県丸亀市	57	0.92
大運役員持株会	大阪市中央区久太郎町4丁目1-3	57	0.92
計	-	2,047	32.95

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 13,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,151,300	61,513	
単元未満株式	普通株式 63,739		
発行済株式総数	6,228,039		
総株主の議決権		61,513	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,200株(議決権12個)含まれております。

2 「単元未満株式」の欄の普通株式には、当社保有の自己株式13株が含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社大運	大阪市中央区久太郎町4-1-3	13,000		13,000	0.21
計		13,000		13,000	0.21

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、かがやき監査法人により四半期レビューを受けております。

### 3. 四半期連結財務諸表について

当社は子会社を有していないので、四半期連結財務諸表は作成しておりません。



## 1 【四半期財務諸表】

## (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,062,415	1,297,371
受取手形	2,659	3,237
営業未収入金	792,222	841,703
立替金	532,392	571,027
その他	47,744	57,935
貸倒引当金	3,028	2,668
流動資産合計	2,434,404	2,768,609
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	132,826	125,985
構築物（純額）	2,966	2,822
機械及び装置（純額）	1,777	1,659
車両運搬具（純額）	104,306	94,722
工具、器具及び備品（純額）	9,395	7,680
土地	576,183	576,183
リース資産（純額）	31,703	28,372
有形固定資産合計	859,159	837,426
無形固定資産		
のれん	223,448	209,482
その他	64,951	58,126
無形固定資産合計	288,399	267,608
投資その他の資産		
投資有価証券	781,033	811,765
繰延税金資産	47,660	36,872
差入保証金	94,001	92,647
その他	372,707	349,390
貸倒引当金	254,113	233,438
投資その他の資産合計	1,041,289	1,057,237
固定資産合計	2,188,849	2,162,272
繰延資産		
社債発行費	1,228	671
繰延資産合計	1,228	671
資産合計	4,624,482	4,931,553

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	1 40,226	39,767
営業未払金	608,319	659,466
1年内償還予定の社債	47,050	36,400
1年内返済予定の長期借入金	512,045	563,141
未払金	72,754	42,623
未払法人税等	12,056	30,455
賞与引当金	44,426	47,666
その他	74,241	86,653
流動負債合計	1,411,118	1,506,172
固定負債		
社債	26,350	7,700
長期借入金	467,540	585,573
退職給付引当金	198,771	221,383
その他	37,274	33,516
固定負債合計	729,935	848,172
負債合計	2,141,054	2,354,344
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	52,473	52,473
資本剰余金合計	52,473	52,473
利益剰余金		
利益準備金	12,432	14,296
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	255,837	280,472
利益剰余金合計	268,269	294,769
自己株式	11,779	11,833
株主資本合計	2,703,363	2,729,807
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	219,935	152,599
評価・換算差額等合計	219,935	152,599
純資産合計	2,483,427	2,577,208
負債純資産合計	4,624,482	4,931,553

## (2) 【四半期損益計算書】

## 【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業収入	3,622,065	3,774,737
営業原価	3,398,250	3,558,979
営業総利益	223,814	215,757
販売費及び一般管理費	1 184,373	1 209,157
営業利益	39,441	6,600
営業外収益		
受取利息	11	10
受取配当金	14,849	13,831
受取家賃	35,804	35,728
受取手数料	4,260	3,660
貸倒引当金戻入額	-	18,000
雑収入	24,468	26,223
営業外収益合計	79,395	97,455
営業外費用		
支払利息	7,643	5,715
支払手数料	2,656	1,499
社債発行費償却	1,290	557
為替差損	5,052	-
賃貸費用	5,991	5,787
雑損失	1,065	705
営業外費用合計	23,699	14,266
経常利益	95,137	89,790
特別利益		
固定資産売却益	5,487	4,862
投資有価証券売却益	5,130	17,982
特別利益合計	10,618	22,844
特別損失		
固定資産除却損	-	0
投資有価証券売却損	14,914	37,649
投資有価証券評価損	636	7,508
その他	1,916	-
特別損失合計	17,467	45,157
税引前四半期純利益	88,287	67,477
法人税、住民税及び事業税	33,138	22,332
法人税等合計	33,138	22,332
四半期純利益	55,149	45,145

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	88,287	67,477
減価償却費	38,085	44,804
のれん償却額	13,965	13,965
貸倒引当金の増減額(は減少)	7,010	21,035
賞与引当金の増減額(は減少)	240	3,240
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,600	22,612
受取利息及び受取配当金	14,861	13,842
支払利息	7,643	5,715
為替差損益(は益)	339	1,084
有形固定資産除却損	-	0
有形固定資産売却損益(は益)	5,487	4,862
投資有価証券売却損益(は益)	9,783	19,666
投資有価証券評価損益(は益)	636	7,508
売上債権の増減額(は増加)	1,219	50,060
仕入債務の増減額(は減少)	39,784	50,688
立替金の増減額(は増加)	221,860	38,635
その他の資産の増減額(は増加)	17,810	13,682
その他の負債の増減額(は減少)	8,295	872
その他	3,923	-
小計	62,511	121,136
利息及び配当金の受取額	14,861	13,842
利息の支払額	7,754	5,983
法人税等の支払額	55,199	4,960
営業活動によるキャッシュ・フロー	110,603	124,035
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	42,007	29,327
有形固定資産の売却による収入	5,574	4,862
無形固定資産の取得による支出	19,000	850
投資有価証券の売却による収入	65,813	184,866
投資有価証券の取得による支出	70,776	164,649
その他の支出	5,391	5,054
その他の収入	45,270	5,312
投資活動によるキャッシュ・フロー	20,517	4,840
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	-	500,000
長期借入金の返済による支出	356,452	330,871
社債の償還による支出	63,400	29,300
自己株式の取得による支出	104	54
配当金の支払額	60,975	18,244
リース債務の返済による支出	6,055	5,768
財務活動によるキャッシュ・フロー	486,987	115,761
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	618,108	234,956
現金及び現金同等物の期首残高	1,816,745	1,062,415
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 1,198,636	1 1,297,371

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日至 2019年9月30日)	
税金費用の計算	税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期貸借対照表関係)

- 四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。  
なお、前事業年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
支払手形	17,066千円	千円

(四半期損益計算書関係)

- 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
役員報酬	32,160千円	32,780千円
従業員給料(賞与除く)	38,265千円	39,650千円
退職給付費用	1,076千円	2,125千円
減価償却費	10,149千円	9,928千円
のれん償却額	13,965千円	13,965千円
賞与引当金繰入	6,475千円	3,922千円
貸倒引当金繰入	7,010千円	3,467千円
雑費	27,195千円	29,220千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

- 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	1,198,636千円	1,297,371千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	千円	千円
現金及び現金同等物	1,198,636千円	1,297,371千円

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 配当に関する事項

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	62,155	10.0	2018年3月31日	2018年6月29日

2 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の  
末日後となるもの  
該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動  
該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 配当に関する事項

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	18,645	3.0	2019年3月31日	2019年6月28日

2 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の  
末日後となるもの  
該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	合計 (注)3
	港湾運送事業	自動車運送 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,498,188	121,122	3,619,311	2,754	3,622,065	-	3,622,065
セグメント間の内部売上 高又は振替高	771,803	187,964	959,767	-	959,767	959,767	-
計	4,269,992	309,087	4,579,079	2,754	4,581,833	959,767	3,622,065
セグメント利益又は 損失( )	225,276	18,171	207,105	2,721	209,826	170,385	39,441

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険その他を含んでおります。  
2. セグメント利益の調整額の内容は、170,385千円は全社費用であり、その内容は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	合計 (注)3
	港湾運送事業	自動車運送 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,647,703	125,838	3,773,541	1,195	3,774,737	-	3,774,737
セグメント間の内部売上 高又は振替高	656,170	220,539	876,710	-	876,710	876,710	-
計	4,303,874	346,377	4,650,251	1,195	4,651,447	876,710	3,774,737
セグメント利益	195,872	4,769	200,642	1,153	201,795	195,195	6,600

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険その他を含んでおります。  
2. セグメント利益の調整額の内容は、195,195千円は全社費用であり、その内容は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益	8円87銭	7円26銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	55,149	45,145
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	55,149	45,145
普通株式の期中平均株式数(千株)	6,215	6,215

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月14日

株式会社 大運  
取締役会 御中

かがやき監査法人

指 定 社 員  
業務執行社員 公認会計士 上 田 勝 久 印

指 定 社 員  
業務執行社員 公認会計士 深 井 大 督 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社大運の2019年4月1日から2020年3月31日までの第100期事業年度の第2四半期会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社大運の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。